



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

あけまして  
おめでとう  
ございます



ボランティア活動をその内容で分類すると、次の9種類になるそうです。

- ① 集める(ペットボトルのキャップ・募金)
- ② ふれあう(施設の訪問・手紙での交流)
- ③ つくる(こども食堂などの食事提供・ものづくり)
- ④ 伝える(郷土芸能の継承・しめ縄づくり)
- ⑤ 教える(学習支援、職場体験・社会見学の受入れ)
- ⑥ 広める(献血やドナー登録の広報活動)
- ⑦ 手伝える(介助や清掃など、日常生活の手伝い)
- ⑧ 購入する(障がい者施設や被災地の商品購入)
- ⑨ 整える(花の植栽・資源の節約・ゴミの分別)

事務局が取材する活動も、いずれかに関係しています。学校からお知らせいただいた情報に沿って、できる限り訪問させていただきます。

本年も、よろしくお祈りします。



【須木中】年末の恒例行事。地域の方12名を先生に、わらをたたき柔らかくするところから始めて、しめ縄を作りました。

## 東方小 租税教室

講師は税務課の皆さん

6年生



1億円を持ってきました

重さは10Kg。積むと1mになります。

【質問の答えより】◆ 税務課の職員は43名。住民税、家や土地の税など、担当する仕事をしています。◆ おじいちゃんおばあちゃんと、税金以外のたわいもない話をしている時、楽しそうな顔を見ると、人の役に立っているんだと感じます。◆ 収入は…です。

【税金クイズより】◆ 外国にはソーダ税やポテトチップス税もあります。(国民の健康を守るため) ◆ アメリカで救急車を1回利用すると約32,400円かかります。◆ 小林で税金の使い道を決めているのは議会です。◆ 小学生が1年間学校に通うのに使われる税金は88万5千円。小林市は給食費の半額を税金で補助

## 野尻小 ものづくり体験教室

5・6年生



園芸装飾(寄せ植え)・ロボットプログラミング・洋裁(サコッシュ作り)に分かれ、技能士の皆さんに教えていただきました。ロボットのグループでは、タブレットにプログラムを打ち込み、ロボットを実際に動かしてみました。

## 三松小の活動

1年生 in のじりこびあ



校外学習です。体験型に加え、手作りの遊具もたくさんあり、子どもたちはいろいろなものに挑戦して、楽しく過ごしていました。

## 2年生 in 東方学校給食センター



斉藤先生(栄養士)



山内さん(センター長)の案内で見学。斉藤先生から給食ができるまでのお話を聞きました。

【質問の答えより】◆ お皿は7,000枚ぐらいあります。◆ 味見は毎日しています。◆ できるだけ小林市の食材を使い、なければ県内のもの、全国から、という順で仕入れています。◆ センターは平成27年にスタートしました。◆ 献立は1か月分をまとめて考えています。◆ 小学校低・中・高学年、中学校で給食の量は変えています。◆ 仕事は午前8時から午後4時45分までです。

## 4年生「きょう土を開く」野尻原用水路

郷土の先人、田丸貞重についての学習。「当時の人々が、どんな思いで、どのように用水路を

作ったのか」という課題に取り組みました。



井上さん(社会教育課)



タブレットで  
意見交換

**野尻中の活動**

**避難訓練(火災)**



野尻分遣所の  
皆さん



煙霧体験(理科室):低い姿勢  
で、壁を触りながら歩きます。

- ①ホースを火元へ向け
- ②ピンを抜き ③ぐっとレバーを握る「ホッピング」と覚えてください



溝俣さん  
(小林警察署)

**薬物乱用防止教室**



薬物標本

薬物の種類や身体・脳への影響、常習者の注射痕などについてのスライドによる説明の後、薬物乱用の恐ろしさや体への影響を伝えるDVDを視聴。薬物の怖さと同時に、断る勇気の大切さを学びました。

**永久津小 福祉体験学習**

**3年生**



お風呂だよ

枠に名前を書き入れます。



「心のバリアフリー(やさしさ・おもいやり)」と、「ふくし」という2つの言葉を覚えてください



【協力】社会福祉協議会3名  
福祉協力員1名



高齢者疑似体験とアイマスク体験を通して、高齢者や障がいのある方々との接し方を学びました。【お話より】見えない人にとって、白杖(はくじょう)は体の一部。介助者は半歩前を歩きましょう。

**幸ヶ丘小 幸っ子フェスタ(世代間交流学習)**



だるま落とし



表札づくり

保護者や地域の皆さんと交流しました。森山正男さん(86歳)から昔の生活や学校のお話を聞いた後、1~4年生は「昔の遊び」と笹舟などの「おもちゃづくり」を体験、5・6年生は板金技能士の皆さんの指導で「表札づくり」に挑戦しました。参加者全員が「幸ヶ丘小の児童」になって楽しく活動しました。

**須木小 土木の日**

**4~6年生**



橋の模型製作



コンクリート舗装体験

土木技術や土木事業などに親しむことを目的とした体験活動。建設業協会や造園組合など、5つの団体の皆さんに教えてもらいながら、橋の模型製作、クレーン操作、測量などを体験しました。

**紙屋小 いもほり**

**1~3年生**



【協力】JAこばやし青年部  
野尻支部・保護者



たくさんのお大人に協力してもらい、6月に植えた紅はるかを収穫しました。始めの会と終わりの会では、3年生が進行とあいさつを受け持ち、1・2年生が感想を述べました。

掘りたいもは家庭へのおみやげに。中学校にもおすそ分けされるそうです。

【お礼の言葉】協力していただいたおかげで、たくさん掘ることができました。おいもは、おいしくいただきます。



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

昨年12月、学習支援ボランティアについての調査を行いました。その結果を報告します。

- ① 学習支援ボランティアはいない 【11校】
- ② いないが募集中(募集を考えている) 【3校】
- ③ いる 【7校】
- ④ ボランティアの人数 南小(3)・三松小(2)  
野尻小(14)・栗須小(14)・小林中(1)  
永久津中(5)・野尻中(3)

- ⑤ 主な活動内容(学校数)  
教室での支援(6)・校外活動の引率補助(2)  
ワークシートのまる付け(3)  
プリントの印刷(2)・校内の除菌(1)  
教材教具の作成補助(1)・資料の製本(1)  
体験活動の支援と補助(2)

- ⑥ 学習支援ボランティアについての意見
- ◆ ありがたいです。 ◆ ボランティアがいらっしゃる学校に、メリットや課題などについて聞いてみたいです。 ◆ 現在、地域コーディネーターを通して、体験活動(生活科)でのボランティアの協力をいただいています。 ◆ 学習支援ボランティアの方がいらっしゃると、ありがたいと思います。 ◆ 学習支援ボランティアの皆さんに助けていただき、職員の多忙化の減少や、空いた時間に教材研究等の活用が図られています。児童にとっても、授業での支援は理解を深める手立てにもなり、感謝しています。 ◆ 校区内在住の方は高齢者や共働き世帯が多いため、ボランティアの確保が難しいです。 ◆ 授業の中で個別指導をしてくださり大変助かっています。 ◆ 昨年度、教師志望の大学生が印刷等のサポートを行ってくれ、本校の教育活動推進のための有効な支援となっていました。 ◆ ご協力いただいているボランティアの皆様の高齢化が進んでおり、課題となっています。 ◆ 地域の「サロン」としての学校開放を進めながらボランティアを募集したいと思っています。 ◆ 小規模校ですが、学習到達度の個人差が様々なので、学習支援ボランティアの方がいてくださるとありがたいです。 ◆ コロナの影響で、昨年度途中から活用していません。

ご協力、ありがとうございました。

## 【児玉校長先生(野尻小)に聞きました】

栗須小と本校で、学校だより等の地域回覧文書でボランティアの呼びかけをしましたが、反応はあまりよくありませんでした。そこで、PTA役員や民生委員の皆さんに、引き受けていただけそうな方のお名前を教えてください、学校から個別にお願いしました。

現在、多くの皆さんに支援していただき、本当に助かっています。「待っていても、ボランティアはやって来ない」というのが、お願いしての実感です。

## 【益田さん(学習支援ボランティア)に聞きました】



時間の有効活用のために始めました。野尻小と栗須小で、週に半日ずつですが、子どもたちや先生方のためになっていると思うと充実感があり、ボランティアが生きがいにもなっています。

(この日は、ワークシートの印刷やまる付けをされていました)

## 小林中 農業体験活動

1年生



スポーツ振興課と北きりしま田舎物語推進協会による事業。約140名の生徒が、小林・えびの・高原のお宅23軒で1日を過ごしました。野菜の収穫、昼食づくり、地域の散策等を通して受け入れ家庭の皆さんとふれあい、教室では学べないたくさんを経験をしました。同時に、西諸の自然や食材の豊かさ、人々の優しさも感じ取ったようです。

訪問した8軒いずれのお宅でも、故郷への愛着と子どもたちの健やかな成長への願いを感じました。

## シェフのこばやし食育教室

南小 6年生



## 東方小 6年生



地井シェフのお弁当を食べながら学び、感じたのは…

- ◆ SDGsに関して「食品ロス」や容器の「脱プラスチック」
- ◆ 小林の食の豊かさ。お弁当に使われている野菜38種類の8割が小林産
- ◆ 地井シェフが料理人になったきっかけ
- ◆ トリュフの匂い
- ◆ 故郷への愛着と誇り など

※ 6年生と中学校の一部で実施している地方創生課の事業

裏に続きます。

## 西小林小の活動

### 3・4年生 国際交流員と交流



やった～！

答は2番かな～？

講師はドイツ出身のトニーさん。ドイツのクリスマスについて、3年生はスライド、4年生はクイズで、クリスマスへの思いや習慣など、日本との違いに驚いたり、感心したりしながら楽しく学びました。



### 2年生 図書館見学

【質問の答えより】 ◆ 177,715冊の本があります。  
◆ 1日の来館者は約150人。60歳以上の方は60人ぐらいです。 ◆ 1908年に設立。県立図書館に次いで2番目に古いです。現在の建物は1981年(昭和56年)に建設されました。 ◆ 14人の職員が交代で働いています。  
◆ 本が好きなので、図書館で働くことはとても楽しいです。 ◆ 毎週土曜日に新しい本が並びます。

## 小林小の活動

### 5年生 味覚の授業



甘味(砂糖)、塩味(塩)、酸味(酢)、苦み(チョコレート)、うまみ(だし)を味見しました。

地井シェフと5名のスタッフによる食育の授業です。

【質問の答えより】 ◆ わさびとタバスコ、からしでは、同じ「からみ」でも成分が違います。 ◆ 味は人によって好みがあり、感じ方も異なります。 ◆ 五感に加えて「心で感じる味」もあります。 ◆ 今の皆さんは優れた味覚をもっている年頃です。

### 4年生 福祉体験活動



【協力】社会福祉協議会と福祉教育協力員の皆さん

障がいのある人の気持ちや介助の仕方を理解する学習。2人1組で、車いす利用者と介助者を交代しながら、スロープや段差があるコースを回りました。子どもたちは、車いす体験を通して、「福祉」の意味と自分たちにできることについて考えました。

## 栗須小 みかんやまスマイルフェスタ



救助隊員として、小林から県に派遣されています。

「救助」されたのは松田さん(PTA会長:中央消防署)



### 機内を見学

前半は学校行事です。保護者の協力を得て、持久走大会ともちつきを実施。全校児童で田植えと収穫をした「栗須っ子米」の販売も5年生がしました。後半は地域の防災活動。防災ヘリ「あおぞら」による救助訓練を見学しました。隊員による防災ヘリや消防車、救急車の装備や役割についての説明に、子どもたちは興味津々で聞き入っていました。地域住民(5人ずつ2回)の体験飛行もあり、校長先生も20分ほどの空の旅を楽しみました。座席がないので、体をベルトで機内に固定したそうです。フェスタは今年で7回目。三ヶ野山地区の様々な団体と栗須小が参画して実施しています。

## 細野小 3年生の活動

### 霧島岑神社の見学



良縁のみち

案内はガイドボランティアの皆さん。宮司さんのお話もありました。歴史のある境内に新しいハーバリウムが…。(地域の活性化を願い、外山さん:地方創生課・小林高校生・婦人会員が手作りしたものです)

### 昔の道具体験



背負いかご・石臼・斧

写真の他にも、のこぎり・七輪・背負子(しょいこ)・わらじ・みの・炭火アイロン・がん灯(携帯用ランプ)を使ってみました。子どもたちは、体験を楽しみながら、昔の人の工夫や知恵を学んでいました。

【協力】ガイドボランティア協会と社会教育課の皆さん



# School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

(教師) もしも、お父さんはいらっしゃいますか？  
(生徒) お父さんは外出しています。



「生徒と1対1でこんなテストをしました」と、ある中学校の先生。中学2年生の国語では、敬語(丁寧語・尊敬語・謙譲語)について学びます。授業では、様々な場面を想定して敬語の使い方を生徒に考えさせたそうです。

「スマホが普及した今、中学生がこのような電話を受けることはないかもしれません。でも、社会に出れば、会社の電話を使うこともあるでしょうし、敬語を含むコミュニケーション能力は、生活する上で欠かせません」と、先生は言います。

地域学校協働活動は、活動本来の目的に加え、多くのことが学べる機会です。大人との会話の中で、敬語の使い方も学んでいるかもしれませんね。

**【クイズ】** 目上の人であっても、敬語を使わない方が喜ばれる場合があります。その相手とは誰でしょう？  
(答はページの最後にあります)

## 野尻小の活動

## 2年生 野尻給食センター



いっすんぼうしみたい!

300人分作れるおなべです

京保さん(センター長)の案内で、給食を作る様子を見学した後、日高さん(栄養士)のお話を聞きました。

- 【日高さんが気をつけていること】**
- ① 栄養のバランス
  - ② いろいろな食材を使う
  - ③ 地産地消・旬の食べ物・季節の料理
  - ④ 安全に食べてもらえる
  - ⑤ 決められた金額でつくる
  - ⑥ 手作りを心がける

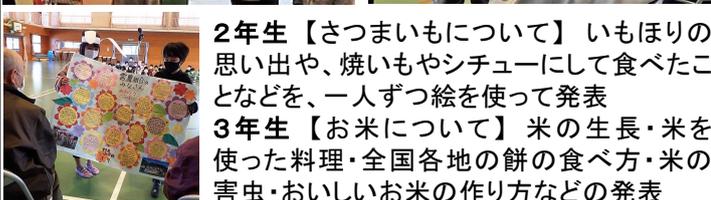
## 1~3年生 収穫感謝集会

米とさつまいもの栽培でお世話になっている営農組合とJAこばやしの皆さんに、感謝の気持ちを伝えました。



1年生 劇「おおきないも」

3年生 手作りのプレゼント



お礼の手紙

**2年生【さつまいもについて】** いもほりの思い出や、焼いもやシチューにして食べたことなどを、一人ずつ絵を使って発表

**3年生【お米について】** 米の生長期・米を使った料理・全国各地の餅の食べ方・米の害虫・おいしいお米の作り方などの発表

歌やダンスも披露しました。

## 人権教育講演会

## 細野中・永久津中・東方中 須木中・紙屋中



リモートで実施。進行は須木中生徒会

**【浦田理恵さん】** ゴールボール選手。2020東京パラリンピック銅メダリスト。熊本県出身

教師を目指していた20歳の時、「網膜色素変性症」により急激に視力が低下。現在は左目の視力はなく、右目も強いコントラストのものしか判別できない。



東方中

前半はゴールボールの説明。ルールや選手の動き、獲得したメダルのことなど。後半は視力が急激に低下した頃のこと。家族にも友だちにも伝えられず、「見えているふり」をして生活し、引きこもりになったことも。そんな苦しみから一歩踏み出し、家族に話した時のこと。ゴールボールとの出会いなどについてお話してくださいました。

苦しかったことも笑顔でお話される浦田さんの前向きな姿は、生徒たちに深い印象を残したようです。東方中の生徒たちは、最後まで立腰の姿勢を崩さず、真剣な表情で聞いていました。

## 小林小 学校体育サポーターの授業

## 4年生



柳橋先生(専門は器械運動)

跳び箱の授業です。子どもたちは、3~7段の中から自分の技量に合ったものを選び、開脚とびや台上前転などに挑戦。柳橋先生のアドバイスと補助を受けながら、「できる喜び」を味わっていました。

片付けの後、成長を振り返りながら学習ノートに記録しました。

## 【クイズの答】 日本語を母国語としない人



「外国人とは英語で」と考えがちですが、アジア圏の出身者が多い日本では、敬語を使わない「やさしい日本語」の方が、意思の疎通が図りやすいそうです。

文化庁も「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を作成し、その普及に努めています。

× お名前を教えていただけますか。

○ 名前を教えてください。

日本語教室で聞きました。

小林市には、約600人の外国人が暮らしており、ベトナム・中国・フィリピンの出身者が半数以上を占めています。

裏に続きます。

## 栗須小 みどりの啓発活動

4年生



「緑の少年団」の活動です



スーパーや野尻庁舎前で募金活動を行いました。「緑を増やす活動をしています」と、子どもたちが大きな声で呼びかけると、多くの方が足を止め、募金に協力。お礼に苗木をプレゼントしました。

4年生は他にも、花壇の手入れや一人一鉢運動、森林体験などを行っています。ふるさとを愛し、豊かな心をつくるのも、目的のひとつです。

## 小林中の活動

3年生 礼法についての講話



みなさんにとって大切な方は？



親です！



妻です！

【講師】日高昭江さん：ホテルマリックスSDGs推進室顧問  
日高さんは「顧客満足教育室」室長も務めた接客のプロ。ホテル勤務の経験を基に、笑顔やあいさつの意味、お辞儀の仕方など、コミュニケーションの基本について教えてくださいました。

【お話より】◆ 制服が動くのは小林中が動いているということ。「見られている」意識をもつと行動が変わり、成長できます。◆ 語先後礼(ごせんごれい)「言葉が先でお辞儀が後」です。◆ 自分より良いものをもっている周りの人から学びましょう。◆ 「一期一会」という言葉は「今、目の前にいる人が自分にとって大切な人」という意味です。その人のために何が出来るか考えてみましょう。



今日学んだことを参考に、支えてくれる人のために自分ができることを考えたいと思います。

1年生 リコーダー講習会



増永奏さん。大阪府在住 東京リコーダー協会所属



クリスマスソングで始まり、リコーダーの歴史についてのお話の後、クラシックの名曲や「千本桜」などを演奏。曲の合間には数種類のリコーダーの紹介と演奏のポイント(息づかい・指づかい・タンギング)の解説もありました。最後は櫻井先生とセッション。「風笛」の演奏に生徒たちは魅了されていました。

## 三松小 みまつ会議

週に1度、朝の時間帯に行っています。



箱に入れた意見は先生が紹介



司会や記録は輪番制



居心地の良い学級・学校・地域を目指す20分ほどの話し合い活動。児童の提案で議題が決まります。タブレットや「いいねボックス」で意見を交換したり、輪になって話し合うなど、各学級で様々な形の話合いが行われました。この日は、学校運営協議会の皆さんも来校。子どもたちの熱心な活動を、感心しながら参観していました。

【こんな議題が…】◆ 惜しまれて卒業するには ◆ 朝のボランティアに進んで参加するには ◆ ドッジボールで、つい足を引っ張ってしまう ◆ 遊びのルール ◆ (点検で) どうしてマイナスがつくのか ◆ 日直に文句を言わないようにするには ◆ お楽しみ会をしよう ◆ タブレットのきまりを考えよう

## 細野小・中 哲学対話

「中学校生活体験プログラム」の一つ。6年生が2日間の日程で、授業を受け、部活動を体験しました。



物語を聞き、「問い」を1つ書いてください



◆ 木はなぜ、少年のためにそこまでするのか ◆ 木は幸せだったのか ◆ なぜ僕は大きな木にも来ていたのか

【おおきな木】少年は木で遊び、木は少年が成長する度に、リンゴや葉や枝など、持っているすべてを与えます。最後は、少年は老人に、木は切り株だけになってしまっ…



6年生と中学2年生



5つのグループごとにテーマを決めてスタート。ボールを持った人が話します。

何を言ってもいい、聞くだけでもいい、相手の考えを否定しない、まとまらなくてもいい、知識ではなく自分の経験に基づいて話す、などのルールがあります。小中の先生方が子どもたちの緊張をほぐしながら進める中、様々な思いが飛び交っていました。

その後は中学生の合唱。合唱コンクールや、修学旅行中、長崎の平和公園で歌った「生命が羽ばたくとき」を6年生にプレゼントしました。

【あいさつより】◆ 中学生の意見が聞けて良かったです。合唱は初めて聞く歌でしたが、「すごい」と思いました。



◆ 優しい先輩が多いので、細野中での体験を楽しんでください。



# School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

「高校でやってみたいことは何ですか？」  
「学校の行事を思う存分楽しみたいです」

中学校の面接指導での会話です。この生徒(女子)は「いちばんの思い出は3年生の体育大会です」と答えていましたので、様々な制約の中でも「やり遂げた」満足感は得られたのでしょうか。同時に、「コロナに影響されない行事を楽しみたい」という強い希望もっていました。彼女の言葉を聞いて、そういう日が1日も早く来ることを改めて願いました。

コロナ禍での生活が続くと、それが普通だと感じ、多くの活動で本来の姿や感動を忘れてしまうのでは、と心配しています。

## 細野小の活動

### 人権教室

講師:人権擁護委員の皆さん



ポッチャ



心音を聴きました

### 1・2年生 紙芝居「ぐりぐら森のおばけ」

弱い立場の動物たちが協力して、いじわるな動物たちのいじめをやめさせるお話です。

### 3・4年生 「ポッチャ」 体の不自由な人も楽しめるよう、イタリアで考案。2チームに分かれ、キーになるボールへの近さを競います。パラリンピックの正式種目です。

### 5. 6年生 江田さん(元校長先生)による授業「命のバトン」

絵本「いのちのまつり」を通して、先祖から繋がる命について考えました。20代前から今まで、約105万人の「ご先祖様」とつながっているそうです。

### 4年生 いのちの授業

11月に訪問したみやざき動物愛護センターから2人の先生が来校



講師: 田原さん・外山さん(元校長先生)



めあては「動物へのかかわり方を学び、共生について考えよう」。絵や写真を見て動物の気持ちを想像し、ペットや家畜、野生動物とのかかわり方を考えました。最後に、動物との約束・自分ができていることをまとめ、発表しました。

この日は参観日。保護者に加え、学校運営協議会の委員さんたちも参観しました。

## 須木小の活動

### 人権教室



講師:人権擁護委員と市民課の皆さん



1～3年生、4～6年生に分かれて実施しました。

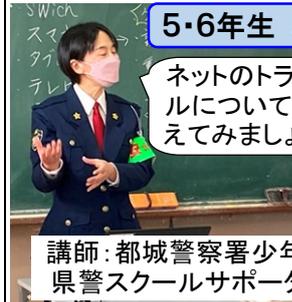
◆ 人権啓発アニメ「勇気のお守り」 登場人物になったつもりで、各場面での気持ちを考えながら、「嫌だ!」と言える勇気や思いやりの心の大切さを学びました。

《ストーリー》 いじめられて学校を休むようになっていた転校生の林太郎。友人の思いやりや、「子どもの人権SOSミニレター」による人権擁護委員への相談をきっかけに立ち直っていきます。

- ◆ SOSミニレターについて
- ◆ 人権カルタの紹介

思いやり 心にまんたん つめておこう

### 5・6年生 非行防止教室



ネットのトラブルについて考えてみましょう



講師:都城警察署少年補導職員と県警スクールサポーターの皆さん

○×クイズで基本的なことを確認した後、間違った使い方家族や友人に迷惑をかけた、犯罪に巻き込まれる危険があることを学びました。

### 【オンラインゲームで心配な事】 ◆ 友だちとのトラブル

◆ 課金のトラブル ◆ 仲良くなった人に会いに行くと…  
最後に、ゲームをするときに注意することを発表。ルールを決め、それを守る大切さを互いに確認しました。【宿題】家族でルールを決めよう。

## 西小林中の活動

### 3年生 未来予想図発表会



9つのグループごとに小林市の課題と解決策を発表。イメージ画像を使った具体的なアイデアがたくさん提案されました。5名の講師と先生方からは、鋭い質問や丁寧なアドバイスがあり、生徒たちは、それらを参考に、再度考えをまとめていました。

裏に続きます。

【課題と解決策より】① 人口減少・働ける企業。小学生からのキャリア教育 ② キッズスポーツプログラム。スポーツが盛んな町へ ③ 自然を活用した施設や誰もが利用できるスポーツ施設 ④ こみスポ(こばやしみんなでスポーツ)。季節ごとのスポーツイベント ⑤ 環境についての提案。空き地を活用・足湯カフェ ⑥ 交通・イルミネーション。リスクを恐れず新しいことに挑戦 ⑦ ランタン打ち上げ・テイクアウト専門店との提携 ⑧ 市民への確実な情報提供。小中学校で夏野菜を育て販売 ⑨ チーズ饅頭の売り出し方。焼き印やサービスなど

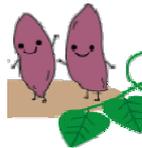
【講評より】◆ まちづくり(株)で採用したいと思うものもありました。◆ 今ある施設、自然を活用する方法もあると思います。◆ 内容が具体的で素晴らしかったです。◆ 他の町のことも調べると参考になります。

【協力】 学校運営協議会委員・地域コーディネーター  
企画政策課・小林まちづくり株式会社



1年生 郷土料理教室

2年生が栽培したさつまいもを使い、学年ごとに毎年行っています。この日のメニューは、さつまいものシチュー・りっちゃんサラダ・がね。生徒たちは地域の皆さんと一緒に楽しく料理を作り、おいしくいただきました。



南小 租税教室

6年生

吉村さん(法人会  
青年部会長)



南小(15億円)や浜ノ瀬ダム(664億円)の建設にも税金は使われています

「税金って何?」「なぜ納めるの?」など、基本的な疑問に答えながら、授業は進みます。税金のない世界を描いたアニメ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」も視聴して理解を深めました。

小学生1人に使われる税金は、1カ月8万円、年間96万円、6年間で576万円、という話に、子どもたちはびっくり。10キロの「1億円」も持たせてもらいました。

吉村さんが関わり6年生も試乗した熱気球体験(南小PTA主催、まちづくり協議会が協力)の動画も見ました。このイベントも税金から補助を受けているそうです。

【お礼の言葉】◆ 今日の授業でどれだけ税金が大切か分かりました。

◆ 税金はあった方がよいと分かりました。



東方小 ふれあい交流会

1年生



小林こすもす支援学校小学部  
1年生と交流

サンタの帽子と袋を渡すゲーム



東方小15名、支援学校3名の1年生の交流会。これまでも、両校はいろいろな機会に交流をしています。そのため、子どもたちはすぐに打ち解け、時には歓声を上げながら、歌やゲームを楽しんでいました。この日は5年生も交流会を行いました。

永久津保育園・小・中 そば打ち



小林産、  
無農薬の  
そば粉です

- ① 開花時の空中写真。白い花が文字に
- ② 指導は地域のそば打ち名人の倉菌さん
- ③ そば粉と水を、最初は箸で15分ほど、次に手で混ぜます。
- ④ 力を入れてこねます。
- ⑤⑥ めん棒でのばして切ります。
- ⑦ ゆがいて水にさらします。

年長組・小6・中1の活動です。開花時の空中写真や収穫作業の紹介の後、倉菌さんが手順を説明。JAの皆さんに手伝ってもらいながら打ちました。JA女性部の皆さんが作ったそばつゆと「がね」を入れて完成。みんなでいただきました。永久津校区では、JAこばやしと営農組合の協力で、種まきからそば打ちまでの「そばプロジェクト」を、毎年、合同で行っています。





# School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

- ◆ 手話でいろいろなことをやってみたいです。今度会うことがあったら、他のいろいろな手話も教えてください。
- ◆ 私の夢は看護師です。耳が聞こえない患者さんと手話でお話ができるようになりたいです。



活動の終わりに子どもたちが述べる感想やお礼の言葉に感心することがよくあります。これもその一つ。小学校3年生の手話の学習でした。手話サークル「木の実会の皆さん」へのお礼に加えて、2人とも、やりたいことや夢が具体的で、しかも、その場で先生にお願いされ、原稿なしでの発表だったので、一層心に残りました。

発表や行動で自己表現ができると、子どもたちの達成感や自己肯定感は高まります。様々な活動で、子どもたちが活躍している場面に、これからも出会いたいと思っています。

## 幸ヶ丘小 かおる幼稚園での交流・体験



1・2年生【交流】



5・6年生【保育体験】

1・2年生は園児一人ひとりに手紙を渡してから、手作りの「魚釣りゲーム」や「やじろべえ」で一緒に遊びました。5・6年生は、先生になったつもりで「手あそび歌」や「読み聞かせ」、「貼り絵」などで楽しく過ごしました。

少し緊張していた子どもたちも徐々に打ち解け、園内はたくさんの笑顔で溢れていました。

## 須木中の活動

### 厄払い記念コンサート

地区体育館



【専修大学玉名高等学校 Ventures】

### 【Ventures】

マーチングバンド 全国大会に九州代表として18年連続出場し、13回金賞を受賞。今年も金賞でした。フランス・韓国・アメリカでも公演をしています。



カラーガード



須木小・中、地域住民が元気になることを願ってのコンサート。平成7年度の須木中卒業生34名が厄年を機に贈った金一封を使っての公演です。

児童生徒と地域の皆さんは、大編成のバンドの迫力ある演奏とカラーガードの演技に大きな拍手を送っていました。

【お礼の言葉】金賞、おめでとうございました。楽しい曲ばかりで心も楽しくなりました。

### 地域の困り事助け隊

社会福祉協議会須木支所が呼びかけて、全校生徒が参加



冬休みに実施

末永さん(協議会)の「ボランティアとは？」のお話の後、地域のサポーター8名も加わり、4グループで施設や個人宅周辺で清掃活動をしました。

風が強くて寒い中、1時間ほどの作業を終え、ふるさとセンターで活動を振り返りました。

【感想より】 ◆ 風で落ち葉が集めにくかったけど、きれいになって良かったです。 ◆ ボランティアの必要性や大切さを実感しました。 ◆ 風が強かったけど、住民の方が喜んでくれたのでうれしかったです。

### 三松小 校区内文化財の授業



4年生

住んでいる場所に大切なものがあると分かったら、それを誇りに思う気持ちが生まれます

井上さん(社会教育課)を迎えて、小林市の文化財や年中行事についてのお話を聞きました。通学路で普段目にするものや、参加したことがある行事の歴史と価値を知り、子どもたちは驚くとともに、大切にしたいという思いも抱いたようです。

裏に続きます。



旧岩瀬橋 (県内初の鉄橋)



六地藏幢  
ろくじどうとう

【学んだ文化財】 旧岩瀬橋・関ヶ原合戦記念碑  
六地藏幢・二原遺跡公園・岩戸神楽・六月灯 など



「小林に関ヶ原合戦の記念碑？」  
初めて見た時に思いました。その後、西軍について佐土原藩はとりつぶりになり、一部の藩士と家族が堤地区に移住したという話を聞いて納得しました。

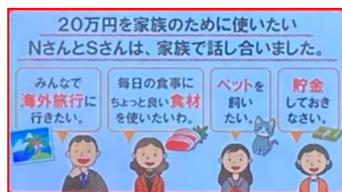
### 西小林中 ライフプラン講座

3年生



Lifeにはifが溢れています。支え合うことが大切です。

村田さん



誰の案に共感しますか？その理由を近くの人に説明してください。



野村さん

講師は日本生命保険相互会社のお二人。「人生と未来について考えよう」というテーマで、お金の使い方や自分らしい生き方、まさかの時の備えなどについて考えました。

【お礼の言葉】支え合うことを忘れずに、生きていきたいです。

### 小林中 性についての講話

3年生



性の多様性について考えました。講師は串間直紘さん(Human Activist)。生まれた時の性別は女性、現在は男性として生活しているトランスジェンダーです。「当事者として、当事者ではない方にメッセージを伝えたい」という思いを、生徒たちも真剣に受け止め、LGBTQへの理解を深めていました。

【お話より】 ◆ LGBTQとは… レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クエスチョニング  
◆ トランスジェンダーは「性同一性障害」と訳されるが、病気ではないので別な言葉に変わる予定 ◆ 私の生物学的性は女性、性自認は男性、性的志向は女性。性に違和感を覚えたのは、4～5歳頃。20歳を過ぎてカミングアウト。学生時代はトイレ、更衣室、体育の授業、修学旅行などで困り感があった。 ◆ セクシャルマイノリティ(性的少数者)は7.6%(13人に1人)いると言われている。血液型がAB型の人や左利きの人と同じ割合になる。セクシャルマイノリティを理解しない人を否定しないが、カミングアウトされた時には、選ばれた人として、しっかり受け止めてほしい。  
◆ 本人の了解を得ずに、性的志向や性自認を暴露するアウティングはしないでほしい。 ◆ 「おかま」や「おねえ」などの言葉が飛び交っていないか？ 傷ついたり、嫌な気持ちになったりすることがある。 ◆ 同性婚は認められていないが、宮崎市では同性パートナーシップ宣言制度の運用が始まっている。 ◆ ぜひ「Ally(アライ:性的少数者を理解し、支援する立場を明確にしている人々)」になってほしい。



休憩中は生徒と気軽に話を…

相手の気持ちを尊重し、少しでも当事者の方の助けになれるようにしたいです

### 紙屋小 給食感謝集会

運営は健康委員会の児童が分担して行いました。



クイズや昔の給食の紹介など

75年前の献立

校内放送を使って実施。初めに、野尻学校給食センターの皆さんへのメッセージカードを日高先生(学校栄養職員)に渡しました。

日高先生のお話と給食に関するクイズなどを通して、子どもたちは学校給食の歴史や給食センターの仕事、給食が健康で充実した生活を送るために大切な役割を果たしていることを学びました。

### 面接指導

協力は退職校長会 西諸支部の皆さん



細野中

三松中、細野中、西小林中で行いました。学校での指導が行き届いているのでしょうか、どの生徒も、受け答えの態度や内容が優れていて感心しました。感想を尋ねると「とても緊張しました!」。外部の面接官は大きな刺激になったようです。



# School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

「電気科を志望したのはどうしてですか？」  
「電気工事士の父がカッコイイと思って…」

再び、面接指導での会話です。この生徒(男子)は、電気工事士の資格を取り、お父さんのような仕事をしてみたいと言っていました。「カッコイイ」という言葉の響きが心に残り、「協働の学校づくり」推進協議会での遠藤宏美さん(宮崎大学准教授)の話の思い出しました。

2つのまちづくり協議会の発表を「多くの人を巻き込み楽しくやられている」「参加したくなる地域づくり」「学校と地域がwin-winの関係」などの言葉で評価された後の「まとめ・助言」です。

昔は、大人の世界に子どもは入ったらダメとか、子どもは経験がないからダメと言われることがよくありました。今は、大人と子どもを線引きするのが難しい時代、大人が「憧れられる」存在ではない時代になっていると感じています。たとえば、子どもの方がスマホの扱いが上手だということもありますよね。だから、大人の姿を子どもに見せて「憧れられる」といいなと思います。そのためにも、地域の大人の背中を見せる機会、大人と子どもが自然に触れ合う場が必要になると感じています。

生徒は10職種から4つを選び、20分間、質問しながら仕事への理解を深めました。先生方は、生徒の希望に沿うように、第10希望まで聞いてグループを編成したそうです。

【講師のひとこと】 ◆ 内田 遼さん(坂下組)「ひなもりオートキャンプ場のロッジも建てました」

◆ 宮内明香さん(自衛隊)「自衛隊についてどんなことを知っていますか？」 ◆ 千田知佳さん(北きりしま田舎物語)

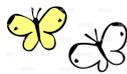
「メンバーは故郷への愛着など、さまざまな思いをもって活動しています」 ◆ 福村祐樹さん(トヨタカローラ宮崎)「同じ会社の中にもいろいろな仕事をする人がいます」

◆ 長塚健史さん(地方創生課)「ふるさと納税やシェフの食育教室の仕事もしています」 ◆ 脇田拓実さん(企画政策課)「家族や健康、故郷への恩返しを考え、兵庫県の会社を辞めて帰ってきました」 ◆ 渡辺野乃花さん・瀬戸口晶子さん(池井病院総合企画課)「(職歴の紹介の後)経験がどこで役に立つかわかりません」

【お礼の言葉(肝付校長先生)より】 身を乗り出して聞いている子どもたちの姿を見て、職業への関心の高さとキャリア教育の必要性を改めて感じました。

## 第2回「協働の学校づくり」推進協議会 (2月15日)

- ◇ ZOOM によるオンライン会議。ホスト:小林市役所
- ◇ 参加者: 各中学校区連絡協議会代表・学校教育課 社会教育課・南部教育事務所 遠藤宏美さん(宮崎大学准教授)
- ◇ 実践発表
  - ① 南校区まちづくり協議会 「地域と学校の連携によるイベントづくり」
  - ② 細野まちづくり協議会 「こどもと地域をつなぐまちづくり」
- ◇ まとめ・助言 遠藤宏美さん



## コサージュづくり

## 須木小 5・6年生



緒方さん・松河さん (みやざきアートセンター)

## 三松中 13歳のハローワーク

## 1年生



① 子育てをしながら2年かけて宅地建物取引士の資格を取りました

② 「食間」を、「食事しながら」と勘違いする人もいます

- ① 新屋敷華菜さん(栄興住宅)
- ② 尾形健次さん(二葉薬局)
- ③ 淵脇 悟さん(ソニー生命)



20代と30代のお客様が亡くなった時の手続きが辛かったです。号泣してしまいました



活動は「森と木のクイズ」、「森と木の働きとSDGs」のお話から始まりました。材料は県内の製材所でもらった「カンナくず」。花びらの形にして、リボンと一緒に、来年度に向けての決意を書いた土台に貼り付けました。6年生は自分が作ったコサージュを胸に、卒業式に臨みます。

【お礼】 体験を通して、父のような林業の仕事をしたと改めて思いました。SDGsのことも勉強になりました。



同じ日の午後、須木中では1・2年生が制作しました。(最初に材料を選びます)

裏に続きます。



### 須木中 1・2年生



10名の3年生のために1人が2個、木の温もりを感じる作品を丁寧に作りました。卒業式では、1・2年生の心のこもったコサージュが3年生の胸で輝くことでしょう。

【お礼】先輩たちのコサージュを作ることができてよかったです。



### 野尻小 給食感謝集会

放送とZoomを使って…  
進行は給食委員会



お礼の言葉と共に、手紙やカレンダーなどを学年ごとに渡しました。



日高先生(栄養士)

【2年生】牛乳屋さんへ



やった～！

ゲームでは、学年の答を先生がタブレットに打ち込み、得点が刻々と画面に表示されました。問題が進むごとに学年対抗の様相を呈して、大いに盛り上がりました。

【プログラム】◆ 野尻小給食献立ベスト1の発表 ◆ 日高先生のお話 ◆ お礼の品の贈呈 ◆ 給食〇×ゲーム

### 立志式

### 三松中 2年生



### 祝 立志式



座右の銘とともに、決意や夢を発表。介護士・中学校教師・編集者・天文学者など、64人の夢が、保護者の前で披露されました。

【記念講演】古川貴浩さん  
(ふるかわ市民法務事務所)

### 東方中 2年生



決意発表の後は大野勇太さん(シンガーソングライター)のコンサート。大野さんは歌とお話で13名の2年生にエールを送りました。式の模様は保護者へも配信されました。

### 紙屋中 2年生



6名がそれぞれのキャリアプランを発表しました。内容は… ◆ 職場体験学習で学んだ、働くことの意義や生活で生かしたいこと ◆ 卒業後の進路 ◆ これからのキャリアプラン(仕事のこと、学びのこと、家庭のことなど) 発表の様子はDVDにして保護者に届けました。



### 紙屋小 シェフのこばやし食育教室



指導は地井潤さん(Kokoya de kobayashi オーナーシェフ)

完食しました！



市内の小学校6年生と一部の中学校2年生で実施している地方創生課の事業。地元の食材を用いた料理を通し、郷土に誇りや愛着をもってほしいという願いが込められています。お弁当に使われた野菜は36種類。約7割が小林産だそうです。今回は三松小も参加しています。

【質問の答えより】◆ いろいろな味をバランスよく入れ、味の変化を楽しめるようにしています。◆ 水がおいしいこと、肉や野菜など、食材がそろっているのが小林の良いところです。◆ 盛付やお皿のデザインなどの見た目も大切にしています。◆ 実家の食堂で、小学生の頃から料理を作る手伝いをしていました。お客さんに「おいしい」と言われると、だんだん料理が好きになりました。

### 南小 手話の学習

【講師】手話サークル「木の実会」の皆さん



### 3年生

私の名前は～です。よろしくお願ひします

動物や乗り物をジェスチャーで表現したり、聞こえない人は、朝起きる時や誰かが来た時どうするかを予想して発表したりして、耳が不自由な人への理解を深めました。休憩中も練習するなど、熱心な取組で、簡単な自己紹介ができるようになりました。

【内容】◆ 聞こえない人の生活 ◆ 聞こえない人とのコミュニケーション ◆ ジェスチャー ◆ 指文字・自己紹介

【お礼の言葉】◆ 今度会うことがあったら、他のいろいろな手話も教えてもらいたいです。

◆ 私の夢は看護師です。耳が聞こえない患者さんとお話ができるようになりたいです。

